

◆ 『ゆとりと活力・調和のとれた「幸田」のまちづくり』 ◆

幸田町

町政レポート

さこう弘康

2017年4月 No.40

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

議会報告 3月定例会報告

平成29年3月定例会は、3月2日に開会し、27日までの26日間の会期で開催されました。人事案件1件、単行議案※9件、補正予算関係の6議案、当初予算関係9議案が上程され、原案通り可決承認されました。

特に、本議会は、新年度の当初予算案を審議をする重要な議会です。住民目線で、納税者の皆さんからの「声」を届け税金の使われ方や事業のあり方を質し、提案をしました。

(詳細は2～3ページに掲載)

※第10号議案の町道路線の認定、廃止に関する議案は提出日に誤記があり取り下げられました。



幸田町議会議員 酒向 弘康

平成29年度  
当初予算の概要

歳入大幅落ち込み！

過去2番目の大型予算！



幸田町 平成29年度 当初予算		
	予算額	前年度比
一般会計	153.8億円	+ 7.9%
特別会計	76.6億円	+ 0.2%
水道会計	11.0億円	- 18.5%
総額	241.4億円	+ 3.8%

【一般会計】  
福祉や教育、防災・防犯など町行政運営の基本的な経費を計上した会計

【特別会計】  
国民健康保険・介護保険、下水道など特定の事業を行う独立した会計

**全体** 一般会計予算額が相見駅が開業した平成23年度にせまる、過去二番目に大きい額。



「こうた彦左まつり」

歳入

- ・町税：78.7億円（前年度比-4.8%）  
⇒自動車関連企業の業績悪化などにより、法人町民税が前年度比71.4%減の2.6億円。
- ・「ふるさと納税」寄付金：13.0億円  
⇒前年度から好調であり、今年度の財源として見込む。
- ・財政調整基金からの取り崩し：12.6億円  
⇒歳出増加を財政調整基金で補う。

歳出

- ・総務費：25.5億円（前年度比+62.5%）  
⇒「ふるさと納税」の返礼品代金や事務委託費に伴い増加。

# 平成29年度当初予算 一般会計予算 (主なもの)

## 新規事業

52事業  
11億4,000万円

## キーワード

「**未来の  
笑顔につながる  
環境づくり**」

## = 主な新規事業 =

- ・坂崎小学校児童増対策・・・5,000万円
- ・子ども発達センター関係・・・5,997万円
- ・エコたんバス購入費(1台)・・・6,950万円
- ・町民会館ホール修繕工事・・・5億3,000万円
- ・通学路交通安全対策工事・・・1,000万円
- ・災害対策特殊救急車整備・・・3,000万円
- ・(仮称)豊坂児童館建設・・・1億7,789万円
- ・幸田保育園大規模改修・・・2,500万円 など



## 新年度当初予算案 … 「住民の笑顔は見えるのか？」

### ～ 予算案審議で発言した内容～

『新年度予算は、  
納税者のために  
使われるのか?』



Q: 町長の当初予算編成方針は、「スクラップ・アンド・ビルド」を基本とするとしていたが、これをどの事業で反映したのか?

A: 太陽光エネルギー補助事業を廃止し、新たに家庭用エネルギー管理システム(HEMS)、蓄電池導入などの補助に切り替えた。

Q: 新年度当初予算案の新規事業は52事業11億4000万円。キーワードは「未来の笑顔につながる環境づくり」だが、新規事業の中で、キーワードとつながる事業と、ねらいは?

A: 小学校増築、児童館建設、町民会館大規模改修事業が対象。住民がいきいきと暮らせる生活支援を充実していく。



住民の「**現在も笑顔・未来も笑顔**」が見える事業展開を!

**実現!**

**児童クラブの終了時間18:30に延長される**

喜びの声: 「急いでお迎えする必要がなくなり、事故の心配も解消できます」

更なる児童クラブの充実と待機児ゼロの実現を!

Q: 放課後児童対策事業の児童クラブは、昨年の12月議会で手数料の値上げと終了時間の30分延長を決定し、新年度より18:30となるが、新年度の待機児童の予測は?

A: 町全体で通年30人、長期70人と予測(2月1日時点)。

Q: 待機児童解消に向け、豊坂第2、深溝第2を設置したが、6年生までの受け入れ拡大や共働き世帯の増加により、対象人数が増加している。3年生までの待機児童の予測は?

A: 町全体で通年12人、長期20人と予測(2月1日時点)。

Q: 「指導者の不足」が課題であったが、解消のための対応は? また、更なる充実に向けた検討事項は?

A: 6学区全クラブにブロック長を配置。幸田小の児童増の対応が急務。

**共働きの家庭、  
お迎えのお母さんの  
強い要望**

**実現!**

- 小1のカベ解消へ
- ◎利用時間を18:00→18:30に延長
- 小4のカベ解消へ
- ◎全クラブ全学年受け入れ態勢拡充



**「引き続き、住民目線で行政の取り組みのチェックに努めます！」**

「ふるさと納税寄附」好調！ 新年度は 13億円を見込む  
前年度 当初予算の64倍

私が2度にわたり、議会で提起した「ふるさと寄付金返礼品」制度を、平成28年5月2日から導入できました。訴え続けた「産業振興・ものづくり町幸田のPRを」そして「税込確保」が、実現できたと言えます。

**平成27年 3月議会**

**問** 「ふるさと納税」で産業活性化を

**答** 早急にスタートできるよう検討

酒向 弘康 議員

酒向 弘康 議員

「ふるさと納税」の活用を

前向きに検討する

**平成26年 3月議会**

**問** 「ふるさと納税」の活用を

**答** 前向きに検討する

酒向 弘康 議員


酒向 弘康 議員

「ふるさと納税」の活用を


前向きに検討する

平成28年度の実績 (5月2日～3月31日まで)


5月2日 7業者20品目 当初予算 2,000万円	3月末 9業者45品目 申込み金額 10億1,553万円
---------------------------------	------------------------------------



ソニー  
SGMO




エアウィーヴ  
マットレス



スギウラ クラフト  
シートクッション



豚肉  
夢やまびこ豚



道の駅  
詰め合わせ



全国の自治体の返礼品が多様化する中、自治体の歳入増のほか、地域の知名度向上、返礼品となる特産品の消費拡大などの利点がある一方、過度の競争や、華美になりすぎることは「本意」ではなく、今後の事業展開には注意が必要です。

～ 「ふるさと納税寄附金」事業の懸念点～

- Q1:** 返礼品が1社(マットレス)に偏りすぎと感じる。産業振興、ものづくりのまち幸田のPRの意味からも、町内企業の製品や、農産物をもっと多く開拓すべきだ。
- A1:** さらに町内企業の工業製品や健康の町としてのアピール、農産品も対応していきたい。
- Q2:** 総務省の指導や愛知県知事の発言がたびたびあり、その内容や顔色を見ながらの事業展開とならないよう、正々堂々とした制度運用を。
- A2:** 本町として、現制度に沿って返礼品競争に巻き込まれることなく事業を推進していく。
- Q3:** ふるさと納税寄附金はあてにできない財源と言わざるをえない。将来に向けた安定財源確保のための産業振興策は？
- A3:** さらに企業誘致を最優先課題とし、経費削減にも力を入れ推進していく。

◇ ボランティア活動紹介 ◇

2月5日 イノシシ防護柵の設置 (地域貢献)      2月18日 枝垂桜に施肥 (自主企画活動)



デンソーボランティアメンバーと地域の方たちと共同で、昨年に引き続き「イノシシ防止柵」をデンソー幸田製作所の正門前から山と道路の境まで設置しました。



デンソーハートフルクラブ幸田のメンバーと「しだれ桜育成ボランティア活動」を実施。デンソー幸田製作所周辺と町道付近一帯のしだれ桜 約100本に施肥をしました。

# JR岡崎駅～豊橋駅間(8駅)に 集中旅客サービスシステム導入

## 「実質無人駅」に 三ヶ根駅・幸田駅・相見駅も 2017年10月から

このシステムは、遠隔で利用客に対応するサービスです。きっぷの確認や案内センターのオペレーターとの会話を可能にし、これまで駅係員不在となる早朝・夜間では利用できなかったきっぷの購入・精算・ICカードチャージについて、列車を運行する全ての時間帯で可能となります。



『 構内の安全・運行案内も遠隔放送！ 』



各駅の対応時間

JR三ヶ根駅 5:55～24:38	JR幸田駅 5:52～24:35	JR相見駅 5:49～24:32
----------------------	---------------------	---------------------

Q: 駅窓口が昼間も閉鎖されるが、シャッターで締め切るのは、さびれた印象と冷たく感じられる。対応は？  
A: 駅として恥ずかしくない景観になるよう対応する。

## 活 動 報 告

連合愛知「早朝街頭活動」  
1/31・2/9



連合愛知三河中地域協議会活動  
「労働活動相談ダイヤル」をPR

「生活懇談会」で生の声  
1/17・2/24



アイシン労組岡崎工場  
で活動報告と懇談会を実施

要望書回答受け取り  
3/30



9月に提出した要望書の回答  
を受け取り大須賀町長と懇談

「地域の声」

「くらしの相談室」

「通勤者の声」

地域での困りごと、町政に対する ご意見・ご要望等、  
お気軽に「さこう弘康 くらしの相談室」をご利用ください。

連絡先（事務所）Tel：0564-56-7727 Fax：0564-56-7918

ホームページは「さこう弘康」で検索してください。



さこう弘康

検索

メールからでもどうぞ!

「お気軽に!」



※お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。